

## パンデミック、ICT、そしてリーダーたち

アレクサンダー・アントニオ・アベラー（フィリピン）

フィリピンは新型コロナウイルス感染症拡大により大きな打撃を受け、健康上の懸念に加えて、とりわけ経済的な混乱と苦境に悩まされています。

フィリピン国家経済開発庁によると、同国の 2020 年の経済活動は 9.5%縮小しています（出典：<https://cutt.ly/lm00aTh>）。2021 年の第 1 四半期には GDP が 4.2%減少し、不況はさらに続いています（出典：<https://cutt.ly/am00ju5>）。こうした数字は、失業や倒産といった一見絶望的な状況を反映したものに過ぎず、当座の経済的不確実性や政府関係者による隔離規則の軽視といった不穏な事態により悪化しています。

それでも、人々はパンデミックがもたらした困難に立ち向かい、主に情報通信技術（ICT）を活用したさまざまな取り組みが広まっています。

### コミュニティ・パントリーとソーシャルメディア

一人の若い女性が地元の疎外された人々を支援するため個人的に始めたささやかな取り組みが、コミュニティ・パントリーという全国的な動きに変わり、貧しい人々に 1 日分の食料の提供と次の日、そして次の週を心待ちに暮らすためのかすかな希望の光を与えるようになりました。パトリア・ノンは、家具ビジネスを立ち上げたばかりの若い企業家でしたがその駆け出しのビジネスが新型コロナウイルス感染症による移動制限と隔離政策の影響を受けました。そこで、パンデミック前は人気の外食スポットだった通りで、コミュニティ・パントリー（無料の食料設置場所）を始めました。小さなテレビ台ほどの大きさの竹製の棚に野菜と最低限の食料品を備えた彼女のプロジェクトは、フィリピンの首都圏であるメトロ・マニラにある他の何百ものコミュニティ・パントリーに影響を与えました。その後、この活動はフィリピン全土に広がり、食品と医療・医薬品を併せて取り扱うコミュニティ・パントリー（出典：<https://cutt.ly/0m00v9c>）やペット用品のコミュニティ・パントリーなど、新たなバリエーションも登場しています。

ノン氏の取り組みがソーシャルメディアのおかげでより知れ渡り、人々は ICT を活用して、食材をより公正な市場価格で農家から直接購入したり（出典：<https://cutt.ly/rm00Em4>）、品物の寄付を希望する市民が近所にあるコミュニティ・パントリーを探せるようアプリを作ったり（出典：<https://cutt.ly/Zm00Yx9>）、フィンテックを使って安全な家からお金を寄付したり（出典：<https://cutt.ly/Dm00IB7>）と、できる限りの支援を行っています。

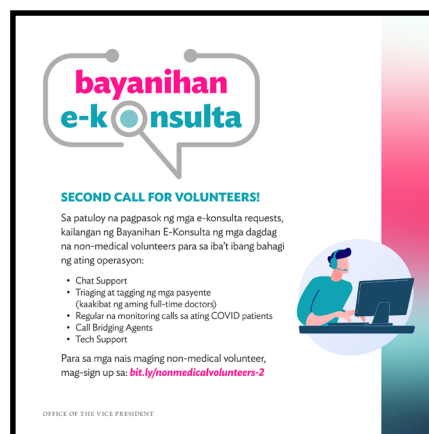


2021 年 4 月 15 日、ケソン市のマギンハワ通りで、自身が運営するコミュニティ・パントリーで野菜の梱包を手伝うアナ・パトリシア・ノン氏。 - フィリピン・スター紙/マイケル・バルカス

### 優れたガバナンス

因習的な政治家や扇動政治家、そして所属政党を次々と変える政治家を除けば、国家・地方行政ともにひととき有望な活動家を排出しています。

例えば、フィリピン副大統領とその事務局は、限られた権限と財源下で、このパンデミックに巻き込まれた国民を最大限に支援するため ICT を活用しました。副大統領は、「E-Konsulta (イー・コンサルタ)」というフェイスブックメッセンジャーを利用した遠隔診療用プラットフォームを立ち上げ、すでに何千人もの人々が無料で医療相談や紹介を受けています（出典：<https://cutt.ly/0m00Dc7>）。



E-Konsulta のボランティア募集のお知らせ

(出典：<https://cutt.ly/Jm00J9J>)

また、生徒や教育従事者さらには保護者が見て学べるビデオシリーズを YouTube 上で制作・公開し、遠隔教育の負担を軽減するプロジェクトも実施しました。また、副大統領の事務局は学習教材を疎外され

た生徒たちに配布しました（出典：<https://cutt.ly/Jm00V70>）。

マニラ首都圏を構成する 17 の自治体のひとつであるパシッグ市では、第 1 期目を務める若き市長が ICT を活用して住民への地方行政サービスを向上させています。市有施設に自身の顔を「掲げる」代わりに、（この「顔の焼き付け」は、これまで多くの政治家によって行われてきた因習です）、連絡先追跡アプリ（国内で最も早いものの一つ）「アユダ（現金送金や現物寄付による社会支援）」や予防接種のオンライン登録システム、さらには政府等の入札のライブ配信（出典：<https://cutt.ly/fm001gx>）などといった新しい取り組みによって、市長は、ICT との連動により優れたガバナンスが確かに進展しうることを示しました。



連絡先追跡ツール「パシッグ・パス」のロゴ  
（出典：<https://pasigpass.pasigcity.gov.ph/>）

パンデミックは人々の最悪と最良の両面を浮き彫りにしましたが、ICT を有効活用することで後者を促進することができます。また、市民が真のリーダーを認識していれば、VUCA（ブーカ：変動性、不確実性、複雑性、曖昧性）が高まり続ける不安定な世の中において、社会の課題解決にも有効です。